



# JAあそだより

平成19年10月



依山のコスモス(西原村)



## ■今号16ページ主な内容

- 南部園芸総合部会総会
- JA阿蘇青壮年部研修会/盟友の主張
- まるごとあそっ子スクール
- JA阿蘇「一の宮斎場」完成

## ▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

# 活気ある産地作りを推進しよう

## 南部園芸総合部会総会

新部会長に二子石富士夫さん選出

JA阿蘇南部園芸総合部会の第14回総会が7月19日、南阿蘇村で行われ、各園芸部会の部会長ら約70人が参加しました。鶴林豊成部会長は「12年前に比べると園芸部会全体で販売高が約9億円下がっている。各部会の部会員が一丸となって頑張ってほしい」とあいさつ。総会では06年度事業報告など5議案が承認・可決されました。総会後、ポジティブリスト施行から1年が経過しもう一度、農業の取り扱いに気をつけようという趣旨で、JA熊本経済連の担当者より講演がありました。

総会では役員改選も行われ、新部会長に選出された二子石富士夫さんは「生産者一人一人が頑張つて、活気のある産地作りをしましょう」と意気込みを語りました。

他の新役員は以下の方々です。  
 (敬称略)▽副部会長 中矢美記男・長野実常▽会計 古澤精介▽監事 後藤義文・東田三敏

## 「加工ニンジン部会」を設立予定

南部営農センター管内

南部営農センター管内では、7月末より8月上旬にかけて原料用ニンジンの播種が行われました。同営農センター管内では8年ほど前より減反田や休耕田の荒廃対策として、ジュースにする原料用ニンジン生産に取り組んでおり、今年は播種前の長雨の影響で圃場の準備遅れが心配されましたが、例年通りの播種となりました。その後の発芽も順調で発芽率調査では、「昨年比べて発芽は良好。あとは除草がうまくいくかが今後の収量に大きく影響する」と担当職員は話していました。同営農センターでは生産者を増やす目的で「加工ニンジン部会」の設立を予定しています。現在、植付面積は約2ha、生産者は7人です。

(写真)発芽調査を行うJA担当職員



## 色見スイカ、今夏の出荷大好評



JA阿蘇高森スイカ部会では8月10日より最盛期となる8月中旬まで、特産「色見スイカ」を出荷しました。「色見スイカ」は玉肥大もよく糖度も高いもので13もあることから地元では有名でしたが、年々生産者や作付面積の減少などにより現在、希少価値の高いスイカとなっています。

今年の出荷を直前に控えた時期に台風5号の被害に遭い、例年に比べ出荷数量が減少しましたが、出荷の初日には「色見スイカ」を心待ちにしていた消費者が集荷場に直接買い求めにやってくる姿も見られました。JAの担当職員は「台風被害などあったが、糖度も12あるので今後も自信を持って売っていきたい」と話していました。

## 阿蘇の味覚や花のイベントを開催



■阿蘇高原花まつり(写真と)

JA阿蘇管内の花生産者が栽培した花の展示即売会「阿蘇高原花まつり」が8月4日・5日、あそ望の郷くさぎで行われました。この催事は「2007まるごと阿蘇フェア」オープニングイベントの一環で、会場では全国有数のトルコギキョウをはじめバラやリンドウなどが展示即売されました。

■夏秋野菜の試食宣伝会(写真と)

南部営農センターは8月4日、氷川町の物産館「ピストログリーン」で夏秋野菜の試食宣伝会を行いました。同営農センターは夏場の野菜類供給が不足する同物産館に5年ほど前から、野菜を中心に加工品などの直送を行っており、当日は冷やしたトマトの試食があり「甘くて、美味しい」と大好評を得ていました。

# JA阿蘇各管内で順調な「生育」に熱いまなざしと努力

## 「ほりだし君」圃場調査で出荷万全

JA阿蘇甘藷部会



色・形・生育状況を確認する関係者

JA阿蘇甘藷部会では8月9日、西原地区の各圃場でほりだし君（甘藷）の株掘り調査を行いました。同部会では毎年この時期に調査を行います。その結果で出荷開始時期を決めています。当日は片山勝彦部会長のあいさつ後、関係者20人が2班に分かれ、各圃場2カ所から3株ずつ16圃場での調査後、西原集荷所を持ち寄り、色・形・生育状況を確認しました。

今回は4月下旬までに定植の株を調査しましたが、定植後の干ばつや長雨で苦戦の年となり、例年の同期に比べやや小振りですが、9月上旬に出荷開始を決めました。同部会は計画出荷量と実際の出荷量との差がなく、計画通りに出荷されることで各市場より高い評価を得ています。

## イチゴ苗の株冷処理

JA阿蘇南部莓部会

JA阿蘇南部莓部会では、8月17日より長陽地区でイチゴ苗を冷蔵処理するためにコンテナへ苗を入れる株冷処理が始まりました。これは冷蔵処理によりイチゴの花芽を早め、収穫開始を11月上旬に設定し、年内の単価高の時期に収量を増やすことを目的としている方法です。同地区では10年前より通常の冷蔵処理よりも期間の短い短期株冷処理（入庫期間12日間程度、設定温度13℃）を低温倉庫内で行ってきました。品種は「とよのか」で、当日は村上豊彦部会長の育苗床でも残量の厳しい中、入庫前の準備が行われました。村上部長は「今



コンテナに苗を詰める生産者

年は雨が長く前の生育を心配したが、例年に負けない苗ができた。昨年よりも期待できる」と話していました。

## イチゴの花芽検鏡

JA阿蘇中部いちご部会

JA阿蘇中部営農センターでは8月25日よりイチゴの花芽検鏡がスタートしました。現在、JA阿蘇中部いちご部会では部会員75人、栽培面積15ha販売計画6億円（2007）を目標に掲げています。花芽検鏡は中部営農センターの浅久野職員の指導で行われ、「阿蘇は高冷地ということもあり、定植は平坦地と比べて2週間程早いが、高温により当初は花芽分化の遅れが懸念されていた。しかし、最近の夜温の低下により、順調に花芽分化している」と、結果を語っていました。定植は8月末から9月上旬の予定で、品種は「佐賀はのか」が中心となっています。



花芽検鏡を行う浅久野職員

## 「阿蘇のトマトはうめえばい」管内の小・中学校へトマト贈る

JA阿蘇中部園芸部会



阿蘇市役所で目録を渡す室治夫部会長

JA阿蘇中部園芸部会は8月28日、管内の小・中学校へ完熟トマトM玉約1000個を寄贈しました。これは地産地消の一環とし、「地元で生産された農産物を学校給食で子供たちに食べてもらいたい」との部会員の希望により5年前から行なわれているものです。

室治夫部会長は「小・中学生に地元のトマトがこんなにおいしいと知ってもらい、農業を身近に感じてもらえれば」と話していました。今後11月にキャベツ、2月にイチゴの寄贈を部会で計画しています。

盟友の主張・組織活動・  
青年の歌・手づくり看板など  
多彩な研修実績を発表

「農業の夢を語ろう」と、第32回JA阿蘇青壮年部研修会が8月29日、部員約70人に阿蘇地域振興局・JA関係者が参加して開かれました。この研修会は10月のJA熊本県青壮年部大会の盟友の主張、組織活動実績、手づくり看板、JA青年の歌「君と」など各コンクール予選も兼ねており、それぞれの支部代表の熱のこもった発表が行われました。

阿南光政青壮年部会長は「すばらしい研修大会になった。今後とも県大会に向けて頑張ってください。」と県大会出場者に激励していました。



農協役員と意見交換、交流深める

JA阿蘇青壮年部は8月8日、青壮年部新執行部とJA阿蘇役員(常勤役員・参事・部室長)との意見交換を行い、交流を深めました。先ず、お互いの紹介が行われた後、阿南光政青壮年部会長が「組合員でありながら農協の内容について把握をしていない部分がある。今回の意見交換会で少しでもお互いに理解できれば」とあいさつ。各支部長からは職員の対応や購買品の価格、米の品種や作付け、まるごと阿蘇販



第32回JA阿蘇青壮年部研修会の様子

各コンクールの結果は次の通りです。(敬称略)

- ▽盟友の主張発表 岡田孝七(二の宮支部)
- ▽組織活動実績発表 本田寅雄(高森支部)
- ▽青年の歌発表 荒牧光博(高森支部)
- ▽手づくり看板コンクール 一の宮支部・久木野支部

盟友の主張を  
発表する岡田孝七さん



手づくり看板コンクールで入賞した  
久木野支部(左)と一の宮支部の作品



売戦略といった多岐にわたった意見が出され、質疑応答が行われました。尚、JA阿蘇青壮年部新役員は次の方々です。(敬称略)▽会長 阿南光政▽副会長 下城博志・宮崎英雄▽久木野支部長 橋原薫▽長陽支部長 西村光広▽阿蘇町支部長 洞田貫真也▽白水支部長 渡辺司▽高森支部長 三森伸治▽顧問 今村孝典▽組織代表理事 井出孝義

JA阿蘇青壮年部「盟友の主張」  
「輝く未来へ」

岡田孝七(二の宮支部)

私が就農して早4年目を迎えています。私の家は水稲3ha、イチゴ15a、トマト20a、大豆60aを栽培しています。私は子供の頃から農業機械が好きで、休みの日などは父の運転するトラクターの横に乗り、田んぼに行ったりしていました。特に代掻きと種刈りの時期は大好きで、中学の頃からしばしばコンバインに乗ったりしていました。その頃から、「俺はこの家を継ぐんだろうなあ」となんとなく思っていました。

高校は熊本農業高校に進学しました。でも勉強はあまり頭には入らず、実習の授業でも言われた事をこなすだけの毎日を送っていました。でも良い事もありました。それはいろいろな地域の友達ができることです。それは、何にも変える事のできない大切な事だと思っています。私を熊鷹に進学させた親も、それが目的の一つにあつたのかも知れません。

高校を卒業し県立熊本農業大学校に進学しました。農大は大学というより、高校の延長みたいなものでした。違う事と言えば、高校よりもさらに専門的な知識を身につけられ、より実践に近い状態で勉強できる事です。農大は全寮制で

夜もみんな一緒なので、友達関係を深める事ができました。この時、できた友達は一生の友達だと思えます。私を農大に進学させてくれた親に感謝したいと思えます。

農大を卒業し私は即、就農しました。就農した時は水稲、イチゴ、花、大豆を栽培していました。以前は牛を飼っていたのですが、父が病気で仕事ができる体質ではなくなりやめてしまいました。その父に代わって祖父と母がメインで仕事をやるようになりました。しかし、その祖父も今までの仕事が出来たせいか、腰などが悪くなり入院を一時する事になりました。退院した後も私が就農するまで頑張っていました。母はイチゴの消毒等を一人でこなしていました。私は高校のとき消毒のホース引きを面倒くさがりながら、手伝っていました。今ではそう思っていた自分が恥ずかしくなり、ホースを引いてくれる事がどれだけ助かるか身にしみて分かるようになりました。今では母に感謝しています。

祖父が仕事のバトンを私に渡し、私と両親との経営がはじまりました。最初の年は今まで祖父がしていた仕事を覚えるつもりで作業をしました。しかし、イチゴの苗を自分の思い込みで、全滅させてしまいました。その上、追い討ちをかけるように平成16年9月7日の台風18号、ハウスは全て飛び残酷と言えぬ思いを就農した年に味わいました。でも、

私は「最初の年にここまで嫌な思いしたんだから、これからどんな事があっても耐えられる!!!」とプラスに考え、頑張っていました。と思えました。

就農して最初に誘いがあつたのが、青壮年でした。「青壮年って何だ?」と思いましたが、「いろいろな人の話を聞く事も大事ぞ!」と親から言われ、何となく入ってみようかと思いつきました。最初は戸惑いも多く、先輩方と仲良くなれるか心配でしたが、20歳で覚えた酒と2次会での歌を生かしさらに親睦を深める事ができました。

私が青壮年に入った年は特別な年だったらしく、盟友の歌のコンクールがあり「歌はお前しかいない!」と言われる出場する事になりました。惜しくも優勝は逃しましたが、良い経験をさせていだいたと思います。その後、2年連続で出場しましたが、優勝はまだできていません。

私は現在、昨年まで栽培していた花をやめ、トマトを今年から始めました。なぜトマトを始めたかという点、今まで経営の柱だった花が平成16年の台風を境に収量が激減し100万円にも満たなくなり、家計が苦しくなつたからです。最初は花の片付けから始め、圃場をリセットすることから始めました。圃場を更地にし水を貯めようとしたら、なかなか貯まりませんでした。そこで盟友の先輩の方に来てもらったら「溝切つてな

いのに溜まるわけがない」といわれ、もう一度、耕運し直し管理機で溝を掘ってみると、見事に溜まって行きました。盟友の先輩には教科書に載っていない農家としての基礎を教えてもらいました。最初は安易にトマトはするなぞ!と言われました。トマトで稼げないなら、働きに出たほうが私にとつて良いからです。もちろん私はそんなつもりでトマトを栽培しようなんて全く思っていないませんでした。なぜ、そんな事を言うのだろうとその時は思っていました。トマト栽培を続けるうちに、私にトマトで稼いでもらいたいからあえて心を鬼にして私に言ったのだと思います。盟友の先輩には今でもハウスに時々来てもらい、トマト栽培について教えてもらっています。

栽培が終わった時、最初のあの盟友の先輩の言葉が本当に良かったと思えるように、頑張っていきたいと思っています。私はトマトとイチゴの栽培で、本を見て作った有機肥料にこだわった栽培をしています。有機肥料と聞くと皆が同じ事をいいます。「コストかかるやろ?」と、確かに一般に売られている化学肥料と比べればコストはかかりますが、なぜ私が有機にこだわるといふと、二つあります。まず一つは化学肥料が普及し多く使われるようになって、昔と比べると栄養価の少ない見掛けだけの野菜や果物があまりにも多く、今、それを食べる子供たちに悪影響が出ているという事を、新

聞や本で見たからです。もう一つは化学肥料の使いすぎが病害虫を多く引き寄せ、農薬の使いすぎで虫に効かなくなったり、減収につながりたりして、悪循環になつていこうからです。

私も有機に関する本を読んで分かった事ですが、有機は品質と収量どちらともあげる事ができます。しかも病害に強い元気な作物を作る事ができます。農家にとつても良いし、消費者にも安心で安全なトマトとイチゴを提供する事ができます。これからの社会のニーズに合った栽培方法だと私は思います。目先の利益だけではなく、相手の立場に立った栽培が結果的には相手にも、自分にもプラスになれるのだと思います。

私の目標はトマトを規模拡大し、誰からも喜ばれるトマトを育て、家計を安定させ、トマト御殿を建て人間としても規模拡大する事です。

これからは私は盟友の仲間や家族、その他大勢の方々に助けられ、そして生涯を共に歩むパートナーを見つけ、感謝の心を持ちながら精一杯生きていきたいと思います。輝く未来へ!!



# J A阿蘇各地から実りの秋日より!

**J A阿蘇**  
**「家庭菜園コンクール」**  
 審査結果は11月の  
**「女性フォーラム」**で発表



菜園の高査を行う女性部の皆さん

J A阿蘇では9月4日、第5回目となる家庭菜園コンクールの実地検分をしました。今回は阿蘇各市各地区からの代表5件の菜園を女性部が回って、自己PRを聞きながら作付場所・作付種類・計画栽培ができていかなど10項目を採点しました。

審査員は「どの圃も管理が行き届いており、計画栽培もできていて立派な菜園ばかり」と感想をもらっていました。審査結果は11月6日のJ A阿蘇女性部フォーラムで発表され表彰式が行われます。

**クリの出荷量**  
**西原と蘇陽で185tを見込む**  
**西原栗部会出荷査定会**



J A阿蘇西原栗部会は9月4日、2007年度栗出荷査定会を開催しました。当日は生産者ら約40人が参加し、東田二敏部会長が「今年度は、昨年度よりも自家選別を厳しく、県下一の品質になるよう頑張らしましょう」とあいさつをしました。

生育状況は、発芽期にあたる7月の長雨の影響でやや遅れていますが、着粒数は前年よりやや多く、出荷量は同地区と蘇陽地区合計で185tが見込まれています。



査定会に参加した部会員

**第59回畜産共進会・肉用牛振興大会**

**みんなで築こう「肉用牛生産基地」**



グランドチャンピオンに輝いた「しみず」

南阿蘇畜産農協で9月8日、畜産共進会並びに肉用牛振興大会が開かれました。南阿蘇管内より選抜された褐毛和牛47頭、黒毛和牛16頭、系統牛12頭、肉牛20頭が飼育や発育状況などの審査を受けました。

審査の結果、吉良山一幸さん(高森町)の「しみず」がグランドチャンピオンに輝きました。その他の審査結果は次の通りです。(敬称略)

- 〔未經産牛の部〕▽褐毛若齢の部Ⅱ「ゆみこ」塚元秀典▽褐毛壮齢の部Ⅱ「しみず」吉良山一幸▽黒毛和種Ⅱ「やえざくら」飯星敏
- ▽登録牛の部Ⅱ「ふとる8」曾我一弘▽系統牛の部Ⅱ「まるよ」後藤正男▽肉牛の部Ⅱ「重丸」東洋一
- ▽飼料作物の部Ⅱ本田豊

**07年小国郷畜産共進会**

J A阿蘇小国郷畜産センター管内の小国畜市場で9月11日、小国郷畜産共進会が開かれ、肉牛種牛4部門、肉牛2部門、ジャージー2部門に合計83頭が出品されました。各部門の名誉賞は次の通り。(敬称略)

- 〔肉牛種牛の部〕▽子牛Ⅱ「もりみつ」行部盛雄、「みつこ」2、「まいひめ」2原山寅雄▽育成牛Ⅱ「みつこ」2原山寅雄、「あきこ」井野祐蔵(▽経産牛Ⅱ「第四あそ」穴井秀憲

- 〔肉牛の部〕▽もと牛Ⅱ「光栄」加藤宏文▽肥育Ⅱ「大和574」高村祝次、「鈴重」秋吉克幸、「睦」永江一雄(ジャージー育成の部)Ⅱ阿南徹郎(ジャージー経産の部)Ⅱフースウエストヒル330サターン「高村祐二



ジャージー経産の部で名誉賞受賞の高村くん

## 平成19年産米概況及び販売推進について

19年度は、田植えの時期を1週間程度遅らせコシヒカリの植付けを5月10日～20日と設定しましたが、ここ数年5月末の低温続きのため活着が遅くなり、茎数の確保が充分出来ませんでした。

6月末には梅雨入り、曇天・低温が続き、梅雨明けも1週間程度延び、7月14日には台風4号による被害が見られたが、出穂は平年より7日～10日遅れ8月に入り出穂、また8月3日には台風5号の影響を受けました。

JA阿蘇では、平成10年度から特別栽培米（JA米＋減肥・減農薬）に取り組んでいますが、販売価格の低迷等により、ここ数年特栽培米への取り組み農家の減少が見られ、消費者の低価格米志向が高まる中、JA阿蘇としてJA活動3ヶ年計画「信頼・貢献・改革の実践」、また「安心安全」な農畜産物の提供、組合員・利用者への満足度NO1を掲げJA阿蘇の中・長期ビジョンに取り組んでいます。

ここ数年、気象災害・台風被害の影響を受け集荷も年々減少しています。

こうした中、当JAでは本年度も8月18日から名古屋、大阪の米穀卸への販売推進を行いました、又8月30日から31日にかけて長崎・福岡方面の販売推進を行い、9月の7日には熊本県内米穀卸に対し販売推進を経済連と共に先行し関西、九州、熊本県内の各卸から阿蘇米の高い評価を頂きました。

米価の安定、農家所得の増大にJA阿蘇として役員一丸となり邁進いたす所存でございます。今後とも組合員各位のご協力を節にお願い致します。

JA阿蘇 営農部



写真1 平成19年度生産者と消費者地を結ぶ交流会にて

### 阿蘇産米の品質向上を目指して JA阿蘇米摺部会講習会



講習会に参加した部会員

刈り取りを目前に控えた9月4日、JA阿蘇米摺部会では一の宮ライスセンターで米摺講習会を開き、管内の米摺業者、メーカー、JA関係者ら約40人が出席しました。JA阿蘇米摺部会の藤本部長は「乾燥・調整は最後の仕上げとなる。上位等級を目指してがんばろう」とあいさつをした。

そして、メーカーより米摺機の説明が行われ、参加者は新たな技術向上を図ろうと熱心に説明に耳を傾けていました。その後、JA阿蘇農産物検査員が分析を行い、品質ともに1等米に格付けされました。JA阿蘇では、これから10月下旬まで稲刈りが行われます。

### 2007年産米の初検査 全量が1等米

2007年産米の初検査が9月7日、阿蘇市内牧で行われました。当日はJA阿蘇役員や関係業者ら約30人が出席。先ず神事が行われ、後藤安弘常務理事らが玉ぐしをささげ、収穫期間の安全と高品質米を祈願しました。今年度産米は梅雨時期の長雨の影響で収量・品質低下が懸念されていましたが、当日2822袋（30kg）を検査した結果、すべてが1等米で生産者も安堵の表情をみせていました。



神事(写真上)の後、新米の初検査(写真下)が行われた



# 各コートで元気はつらっいきいきプレーを展開!

## 第7回JA阿蘇年金友の会 親善ゲートボール グランドゴルフ大会

第7回目を迎えるJA阿蘇年金友の会親善ゲートボール、グランドゴルフ大会が快晴の9月9日、農村公園「あびか」で開かれました。大会にはゲートボールに32チーム167人、グランドゴルフに32組224人の選手が出場しました。

開会式では主催者を代表して井上恵会長（高森支部）があいさつ、丸山信義組合長が祝辞を述べ、駿河晴雄さん（二の宮支部）が選手宣誓しました。競技ではそれぞれのコートで元気ハツラツのプレーが展開され選手の皆さんは楽しい1日を過ごしていました。上位入賞者は11月14日、パークドーム熊本で開催される県大会に出場します。

成績は次のとおりです。（敬称略）

〔ゲートボールの部〕

▽優勝 白水Aチーム▽準優勝 高森Aチーム▽3位 西原Aチーム

〔グランドゴルフの部〕

▽優勝 園田一巳（阿蘇町支部）  
▽準優勝 山野松寿（小国郷支部）  
▽3位 白石建男（二の宮支部）



きびしい戦果  
無理をせず  
がんばりましょう!

選手400人が  
勢揃い!



みなさん  
フォームも  
バッチリ!



ゲートボール部賞  
白水Aチーム





# 汗だくになりながら、みんなで稲刈り体験

8月は、台風のために中止になった「まるごとあそっ子スクール」。今回は9月22日、稲刈り体験を行いスクールの子どもたち30人が参加しました。

まず、中部営農センターで九州農政局の興相育良さんより「お米の一生」と題して学習会が行われました。その後、春の田植え体験で全員で植えた圃場へ移動して、JA阿蘇の職員から鋤がまの使い方と刈り取り方の指導を受けました。そして、早速、班ごとに「刈り係」と「運び係」に分かれ丁寧に刈られた稲穂をコンバインまで運び、脱穀をしてもらいました。晴天の中、汗だくになりながら約2時間の刈り取り体験が終了しました。その後、JA女性部による「新米おにぎり」で昼食をとって今回の「まるごとあそっ子スクール」は無事に終了しました。参加した子どもたちは「とっても楽しかったよ。おにぎりもおいしかった」と笑顔で感想を話していました。

ハイ！ライス！！



こうやって  
刈るんだぞ～



「お米の一生」を  
みんなで学習しました



昼食は新米の  
おにぎりで～す！

刈り取った稲は  
コンバインまで運びます



長陽中学校1年生  
イチゴの花芽検鏡も行う

南部管農センター管内の農家では、例年9月中旬に地元中学生の農業体験学習を受け入れていきます。今年も9月12日より14日まで長陽中1年生の農業体験学習が行われました。中学生は4人程度の班を作り、数班に分かれて各農家の農作業を手伝いました。受け入れ農家の一つである南阿蘇村のイチゴ生産者の大津栄視さんの圃場にも、4人の中学生が来て、定植前のイチゴを選びやすいよう準備したりしました。

当日はJ A管農指導員による花芽検鏡が行われており、中学生たちもイチゴの花が出来る過程を顕微鏡を見ながら確認しました。大津さんは「農業体験を通じて食べ物大切さや地元の話が分かってきたらありがたい」と話していました。写真＝顕微鏡を覗き込む中学生

宮地小学校5年生  
青壮年部が稲刈り指導

阿蘇市立宮地小学校の5年生61人が9月26日、今年5月に田植えをした青壮年部盟友の水田で「阿蘇コシヒカリ」の稲刈り体験をしました。

この米作り体験は、7年前からJ A阿蘇青壮年部一の宮支部が小学校と一緒に食育、総合学習の一環で行なっているものです。子どもたちは支部長の宮崎英雄さんから刈り方を教わり、苦勞しながらも18aを2時間程で刈り取りました。子どもたちは疲れた様子でしたが「楽しかった」と笑顔で話、収穫後の白ご飯を楽しみにしていました。



青壮年部の指導で稲刈りをする子どもたち

白水中学校1年生  
米・畜産・園芸を体験

南阿蘇村立白水中1年生全員(男子19人・女子21人)が、10月1日から4日まで、管内の米・畜産・園芸農家へ出向き実習体験をしました。

これは地域の事業所等で職場体験学習を行うことで、人との出会い・ふれあい・喜び・厳しさなどを経験することも目的の一つです。

トルコギキョウ30aを栽培している福本孝生さんの圃場には3人の実習生が訪れました。福本さんは「最盛期は過ぎたものの、この時期の手伝いは中学生といえ大変助かる。ちょうど圃場が中学校の音楽室裏にあるため、子どもたちの美声のお陰で花も大きく育ち、高く売れますよ」と微笑んでいました。実習に参加した中村静香さんは「勉強より体を動かす方が好き。花がとっても綺麗」と感想をもらっていました。写真＝汗をかきながら農作業する中学生

一の宮中学校2年生  
JA・SSで初々しい接客ぶり

「いらっしやいませ」「ありがとうございます」。JA阿蘇一の宮SSで阿蘇市立一の宮中2年の井手亮太郎君と河島良憲君の2人が職場体験学習を行い、その初々しい接客ぶりに訪れるドライバーの頬もゆるんでいました。

今年も10月2日から4日まで、一の宮地区のコンビニや保育園などで2年生106人全員による体験学習が行われました。

JA一の宮SSを選んだ井手・河島の両君は体験学習にガソリンスタンドを選んだ理由としてそれぞれ「車が好きなやつてみたかった」、「将来は車関係の仕事がしたく楽しそうだったから」と述べ、給油に訪れた車の窓拭きや反皿清掃、洗車機後の拭き上げ作業など所長の指導のもと懸命に取り組んでいました。



ワックスがけもばっちりOK!

## 普段の生活でもっと着物を

### 「きものまつり」大盛況

JA阿蘇南部地区

JA阿蘇南部地区では9月1・2日の両日、白水中央支所2階を特設会場に「きものまつり」を開きました。南部地区では毎年6中央支所が合同で「きものまつり」を開催しており、日本の民族衣装でもある「きもの」に特に力を入れていきます。

開会式にはJA、Aコープ、メーカー関係者ら約30人が出席。住吉りえ子JA阿蘇女性部副部長がオープニングで「私もきものが大好きで、正月や子供連れの入学、卒業式には必ずきものを着ている。



展示を試みる来場者

職員のかさんと一緒に少しでもお役に立てたらと思う」とあいさつしました。

今回の展示会は、特に「組合員さんとのふれあいを深める」ことが最大の目的で、開会式と同時に会場は多くの来場者で賑わいを見せていました。

## 全国「ライフプラン」&

### 家計簿」セミナー

南部営農センターの  
井芹太二職員が実践報告

「JA職員がどうやってライフプランを農家や地域住民へすすめることができるか」を目的に、平成19年度全国「ライフプラン」&家計簿」セミナー（主催：JA全中・JA全国女性協・家の光協会）が9月6日・7日、東京JAビルで開催されJA阿蘇から南部営農センター農産課職員の井芹太二さんが、「夫婦でするライフプランのすすめ」と題して実践報告を行いました。

セミナーには主催者をはじめ全国のJA職員100人が出席。井芹さんはJA阿蘇女性部高森支部および青壮年部が夫婦で実施している「ライフプラン研修」を紹介。青壮年部で「ライフプラン研修」

をするのは全国的にも珍しく、また夫婦で実施しているのも珍しいそうです。

発表は「ライフプラン」に取り組んだ理由、青壮年部への呼びかけ方法、青壮年部活動での苦労話、現在の農業の現状などをプロジェクトを使用して報告しました。



実践報告をする井芹職員（写真右上）

## 町村の保育園にトマト贈る

南部トマト部会

JA阿蘇南部トマト部会（後藤義文部会長）は10月1日、部会員が居住している町村の保育園12園にトマトを贈呈しました。当日、南部トマト部会役員14人が手分けをして、給食の食材に間に合うよう午前中のうちに各園に届けました。南阿蘇村立久木野保育園には後藤部会長が訪れ「みなさんの住んでいる地域でできたトマトです。このトマトを食べて大きく育ってください」と、園児代表2人にトマトを手渡しました。

部会では3年前より地元保育園へ食材の提供を行っており、後藤部会長は「自分たちの住んでいる所でどんな野菜ができていくのかを知ってもらいたい、農業への関心も持ってもらう」と話していました。また、JAの中川慎一販売担当は「将来を担う子どもたちに喜んでもらううれしい」と語っていました。



# JA阿蘇管内のJA-SS サービス向上をめざしがんばっています!

## JA阿蘇管内のドラゴン

西原SSの桂さん・馬場さんがそれぞれ最優秀賞と優秀賞に



JA阿蘇購買部は8月28日、JA阿蘇のドライブウェイサービスコンテスト(ドラゴン)を開催しました。開会にあたり丸山信義組合長が「選手皆さんはSSの代表者として非常に厳しい訓練を行ってきた。本日の上位2人が9月9日にJA菊池パシオンSSで開催される県大会に出場して頂く。日常の訓練、営業の中で培われた態度・言葉を競技で充分に発揮してほしい」とあいさつし、競技に移りました。同大会は、接客・点検・技術サービスの向上を図るとともに、経営の強化に資す

る目的を掲げて毎年行っており、今回は管内各SS選抜の10人が出場。

審査は管内のSS所長らにより、接客態度の基本、洗車や不具合箇所との説明、推進といった応用的なことまで、詳細にわたり厳しくチェックされました。競技の結果は次の通りです。(敬称略)

▽最優秀賞 桂美和(西原SS)▽優良賞 馬場弘(西原SS)▽優良賞 北崎智泰(久木野SS)▽審査委員長特別賞 園田真治(高森SS)▽チャレンジャー賞 戸田佳秀(西原SS)

## ドラゴン熊本県大会

桂・馬場の両選手、敢闘賞

9月9日、JA・SSドライブウェイサービスコンテスト熊本県大会がJA菊池パシオンSSで開催され、県内JAの代表者21人が参加。JA阿蘇からは地区予選を勝ち抜いた西原SSの桂美和選手と馬場弘選手が出場しました。この大会はJA・SSの接客・点検・技術サービスの向上を図り、経営の強化に資することを目的に開催され、今回で30回目となります。審査は接客・安全・技術の各サービスと総合印象の各部門で行われました。12番目の馬場選手は彼女の応援

もあり、「優勝宣言」をして競技に臨みました。大きな声のタイヤ点検、お客様に対して待ち時間を飽かせない接客態度、オイル交換の丁寧な説明など完璧な演技内容でした。

14番目の桂選手は、女性ならではの「やさしさ」を出し、車輛の誘導、お客様への対応とあふれる笑顔で演技。西原SSで日頃行っている接客を全面に出し切りました。

審査の結果、残念ながら上位入賞は出来ませんでした。両名とも敢闘賞を受賞しました。

担当部署の購買部の松岡さんは「2人とも最高の演技でした。毎日、営業終了後に遅くまで練習しました。予選を含め2ヵ月以上と長い期間の練習大変お疲れさまでした」と労をねぎらっていました。



桂・馬場内選手と応援団の皆さん

## 西原・高森・柏・黒川の4SSが受賞

JA阿蘇SS油外マッチェリース

JA阿蘇は9月20日、7月に開催したJA阿蘇SS油外マッチェリースの表彰式を行いました。式では丸山組合長が「計画を達成したSSについては、次回も必ず達成すること。惜しくも達成できなかったSSは次は必ず取るという気持ちで頑張ってください」と述べ、結果報告が行われ、所長一人ひとりに賞状と褒賞金を手渡しました。今回の表彰は計画対比の105%以上を達成したSSの西原・高森・柏・黒川の4SSが受賞しました。西原SS永野博博所長は「達成できたのは、スタッフ全員が丸となって頑張ってくれたおかげです。次回も必ず取ります」との意気込みを述べていました。また、ドラゴン県大会に出場した桂美和選手と馬場弘選手の紹介も行われた。



受賞した4SS所長と桂・馬場選手

# スポーツの秋に、さわやかな汗

## J A 熊本県親善野球大会

一の宮中央支所チーム  
準々決勝で1対0で惜敗

8月5日、第32回J A熊本県親善野球大会が菊池恵楓園で開催され、J A阿蘇からは一の宮中央支所チームが出場しました。前日の4日、台風の影響で順延となった大会は天候にも恵まれ白熱した試合が展開されました。一の宮中央支所チームは1回戦、強豪のJ A熊本うきと対戦し、最終回ランナーを3塁において中村選手がサヨナラヒットで勝利。続く準々決勝ではJ A上益城と対戦し、何度もチャンスを作りながら1対0と惜敗しました。

J A阿蘇として初めての県大会出場となった一の宮中央支所チーム。来年のリベンジを期待しています。



イケメン軍団のJA阿蘇チーム

## J A 熊本県親善ソフトバレー大会

「まるごと阿蘇」4チーム出場



美女軍団の「まるごと阿蘇」チーム

第32回J A熊本県親善ソフトバレーボール大会が9月8日、益城町総合体育館で開催されました。J A阿蘇からは予選を勝ち抜いた「まるごと阿蘇A」（阿蘇町中央支所）、「まるごと阿蘇B」（小国郷中央支所）、「まるごと阿蘇C」（一の宮中央支所）、「まるごと阿蘇D」（南部地区混合）の4チームが出場しました。

各チーム、予選リーグ3試合を行い善戦しましたが、惜しくも決勝トーナメントに出場することができませんでした。選手のみならず、大変お疲れさまでした。

## J A 阿蘇きらり

好きな言葉「ネバーギブアップ」



蘇陽中央支所 金融共済係  
入嶋 友里恵 (いりしま ゆりえ)  
昭和62年6月生まれ(住所=山都町)

「入組2年目で出納を担当しています。職場はやさしい先輩ばかりで、毎日楽しく業務を行っています」という入嶋友里恵さん。

自分の性格は「マイペース」と分析していますが、特技はバスケットとバレーボール。バスケは小学校5年生の時、阿蘇郡の大会でグループ優勝、中学校時代はバレーボールで熊本県中学校新人戦ベスト16と、すごい成績を残している体育会系の入嶋さんです。

好きな言葉の「ネバーギブアップ」も納得です。好きな食べ物は自分で料理するオムライスと焼肉。

好きなタイプは「言いたいことは、何でも遠慮せずはっきり言い、何にでも積極的な人」だそうです。

今年の夏に友達と天草の海で泳いだりキャンプしたことが思い出だそうです。

「これからも、上司や先輩、組合員の方に少しでも信頼される職員になりたいです」と入嶋さん。若さとパワーでがんばって下さい。

好きな言葉の「ネバーギブアップ」も納得です。好きな食べ物は自分で料理するオムライスと焼肉。



## 理事会・監事会報告

### ■平成19年度第6回理事会

日時 平成19年8月28日 午後1時30分  
場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項  
委員会報告（経済専門委員会）  
7月末実績報告  
1) 平成19年度米概算金(案)について  
2) 平成19年度米検査員配置について  
3) J A阿蘇米穀共同計算基本要領(案)及び  
J A阿蘇共同計算委員会設置要領(案)について  
4) 農業生産資金(農機具購入)及び  
マイカーローン金利の対応について  
5) 貸出金について  
6) 畜産近代化リース事業について  
7) 畜場名称(案)について

報告事項  
平成19年度上半期仮決算棚卸予備監査実施について  
平成19年度上半期棚卸休業について  
平成19年度地域肉用牛振興対策事業について  
平成16年・17年度米精算について

- 1) 貸出金について
- 2) 農林中金への為替決済担保提供限度額の変更について
- 3) 畜場名称について
- 4) 地域肉用牛振興対策事業(新規参入円滑化等対策事業)  
肉用牛管理施設貸付規程(案)について
- 5) 熊本県肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業について

報告事項 転貸資金条件変更について  
報告事項 余裕金運用状況について  
報告事項 第1回J A旗争奪わんぱく野球大会の開催について  
報告事項 畜場落成式について  
報告事項 平成20年度中国人研修生受入希望農家について  
報告事項 平成16年・17年度米精算について

### ●平成19年度第5回監事会

日時 平成19年8月30日 場所 J A佐伯豊南会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題  
1) 平成19年度米麦等棚卸監事監査報告書(案)について  
2) 平成19年度上半期棚卸監事監査実施(案)について  
3) その他

### ■平成19年度第7回理事会

日時 平成19年9月27日 午後1時30分  
場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項  
委員会報告(債権管理委員会・経済専門委員会)  
8月末実績報告

### ●平成19年度第6回監事会

日時 平成19年9月18日 場所 高森中央支所会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題  
1) 平成19年度上半期棚卸監事監査実施手続について  
2) 平成19年度上半期事務監事監査実施(案)について  
3) 内部監査実施要領について  
4) その他

## JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
佐藤 博	購買部一の宮畜場長	平成19年8月10日	購買部購買課長(生活担当)
室 置 美 幸	一の宮中央支所共済課LA係	平成19年8月10日	一の宮中央支所購買課一の宮給油所長
河 原 浩	一の宮中央支所購買課一の宮給油所長	平成19年8月23日	一の宮中央支所購買課一の宮給油所係
佐藤 義 磨	総務部部長兼事務電算室長	平成19年10月1日	総務部部長
佐藤 満 男	購買部購買課長(生活担当)	平成19年10月1日	小国郷中央支所購買課長
藤 原 孝 廣	総務部次長兼事務電算室次長	平成19年10月1日	総務部次長
古 澤 英 治	一の宮車輦センター長	平成19年10月1日	南部農機車輦センター長代理
北 里 丈 夫	小国郷中央支所購買課長	平成19年10月1日	小国郷中央支所南小国金融店舗統括兼購買課Aマート店長
石 田 孝 臣	南部農機車輦センター車輦係	平成19年10月1日	一の宮車輦センター長



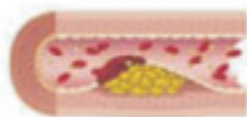
Dr. やまさん

お知恵拝借

## 動脈硬化検査について



## 動脈硬化とは



血管の弾力性が失われ、硬くなったり血管壁にコレステロールなどがたまり、内腔が狭くなって血液の流れが悪くなった状態を動脈硬化といいます。

## 動脈硬化が進むと・・・

脳出血・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞・全身障害(閉塞性動脈硬化症)といった、命に関わる大きな病気につながりかねません。



## 次のことに、思い当たることはありませんか？

- ・高血圧 ・高脂血症
- ・糖尿病 ・ストレス
- ・喫煙 ・肥満
- ・足の冷感やしびれ
- ・過度の飲酒
- ・運動不足



このようなことに思いあたる方は動脈硬化の検査をおすすめします



- ①ベットに横になって電極などを付けます。
- ②血圧を計るのと同じ要領で、わずか5分程度で検査終了です。
- ③結果はすぐ出ます。その場で、先生から説明を受けることができます。

この検査は厚生連診療所でできます。



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

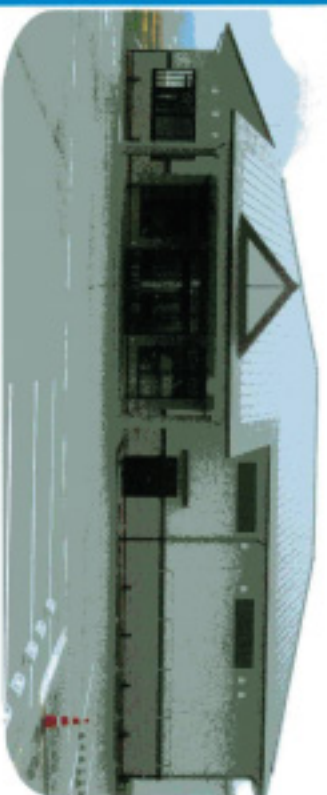
TEL096 (328) 1250 FAX096 (328) 1258

# 阿蘇農協に斎場が完成しました！



JA阿蘇葬祭

一の宮斎場



斎場



花輪



生花

る舎た組の4すま  
 阿蘇に蘇せて  
 儀阿さ儀ごに承り致  
 儀A仕儀ごに承り致  
 葬上り奉儀ごに承り致  
 下より儀ごに承り致  
 下の儀ごに承り致  
 月様の儀ごに承り致  
 10月様の儀ごに承り致  
 10月様の儀ごに承り致

〒869-2612

阿蘇市一の宮町宮地542番地

TEL 0967-22-0983  
 FAX 0967-22-8808



ホー礼壇



自宅葬壇



仏事料理